

ニューカッスルと府中の紹介パンフレット

Introduction brochure of Newcastle and Fuchu

橋村 アンドリュー 啓太

指導教員 山館 順

研究協力者 氏家 和彦

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン科 歴史資料学研究室

キーワード：歴史・文化・日本・イギリス・パンフレット

研究目的

私は日本人の母とイギリス人の父をもつハーフとして産まれて今まで生きてきました。なので、緩急するとなれば両親の生まれである地域などを題材にしていけたらいいなと思っていた。

これが主な研究目的でほかに、イギリスのことは知っていてもどこのどんなものがあるかといった人々が生活をしているかなどは私も含め知らないという人が多かった。これは日本でもいえることだと思う。なので、それをしってもらうために二つの都市やその周りの地域の歴史や文化を説明できるようなものをいたらいいなと思った。

調査内容

私がパンフレットを作成するうえでどこを取り上げたらいいのかを考えた結果。

その地域の始まりと、一番話題性があり取り上げる物が多く現代の生活などにつながりが強い中世から取り上げていこうとかんがえました。

まずは、イギリスのニューカッスルですが、昔 Monkchester とよばれていた所に 1080 年にウイリアム 1 世は長男のロバートをこの Monkchester に送り、新しい城 (New Castle) の建設を命じた、その後街は、ニューカッスルと呼ばれるようになりました。これがニューカッスルのはじまりだった。

次の 1) の建物はキャッスルキープと言いこの城は上記の人が建てさせた城で今でもニューカッスルの街中にあり観光スポットにもなって

いて実際に入ることもできる。

続いて府中の始まりですが、府中は 645 年の大化改新によって、武藏国が置かれ、その政治の中心地「国府」は現在の府中市に置かれました。これが府中の始まりです。また、国府の政務機関である「国衙」の跡が 30 年余り及ぶ発掘調査の結果、大国魂神社の境内及び、その東側一帯に存在していたことが確実となり神社の境内及び、その東側一帯に存在していたことが確実となりさらに、その「国庁」とみられる大型建造物が発見されました。2) この建物は重要施設として、史跡に指定されている

1)



2)



コンセプト

ニューカッスル、府中の二つの都市の歴史や文化を比較して、そこから共通点に着目し、それを伝えることで「今場所に行ってみたい」と興味を持つてもらえるようなパンフレットを作成すこと。

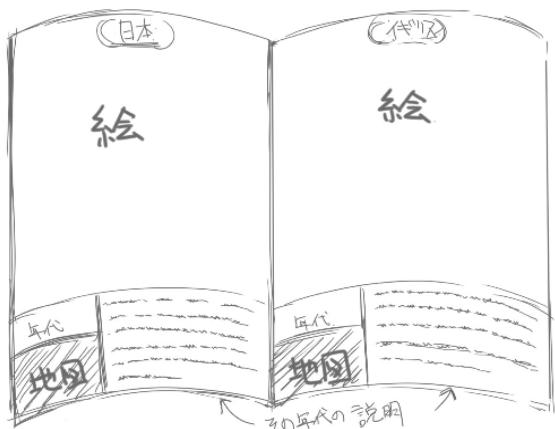
アイデア展開

なぜパンフレットにしたかというと、私のアイデア展開に関わっていて、見開きよってイギリスと日本の違いまたは、共通点などを見やすくしたいというのがまずあり、他にも文字よりも絵などを見てもらってわかりやすくしたいというのがありました。これは記載情報を多く載せられないリーフレットよりも多く載せられるパンフレットの方がいいと思ったからである。

目標とする提案

現段階での提案としてはラフスケッチ3)ですがこのような形にしようと考えている。

3)



今後の展開

今後の展開は画面構成とイラストを最終提案に出せる状態にし、仮のパンフレットとして検証できるようにしていきたいと考えている。

参考文献

トリップアドバイザー

Newcastle Castle へ行く。

https://www.tripadvisor.jp/Attraction_Review

[w:g186394-d213817-Reviews-Newcastle_Castle-Newcastle_upon_Tyne_Tyne_and_Wear_England.html](https://www.gutenberg.org/cache/epub/186394/pg186394.html)

Wikipedia : ファル : 武藏国国府跡

[https://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:武藏国府跡_\(武藏国衙跡地区\).JPG](https://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:武藏国府跡_(武藏国衙跡地区).JPG)

府中観光協会

<http://www.kankou-fuchu.com/entry.html?id=40317>